

近畿大学公開講座2011

開催
日時

10月22日(土)

13:00~16:30 (受付開始 12:30)

会場

まつもと市民・芸術館 小ホール

会場周辺案内図は裏面をご覧ください。

講演① 熊井 英水「信毎賞」受賞記念講演

学校法人近畿大学理事・近畿大学水産研究所 教授 熊井 英水 (くまい ひでみ)

[講演テーマ]

漁業資源存亡の機と養殖漁業 ～クロマグロの完全養殖を中心として～

講演② 特別講演 近畿大学医学部救急医学教室 主任教授 平出 敦 (ひらいで あつし)

[講演テーマ]

救急医療と一般市民 ～病院外心停止と新しい救急医療～

できるだけわかりやすく解説させていただきます。
中学生・高校生の皆さんもぜひご参加ください。

受講料
無料!

定員250人
(先着順)

プログラム

12:30~ 開場・受付

13:00~13:15 挨拶 信毎文化事業財団 常務理事(信濃毎日新聞社 副社長) 猪股 征一 氏

講演① 熊井 英水「信毎賞」受賞記念講演

13:15~14:25

講演テーマ 漁業資源存亡の機と養殖漁業

～クロマグロの完全養殖を中心として～

[講師] 学校法人近畿大学理事・近畿大学水産研究所 教授 熊井 英水

講演② 特別講演

14:35~15:45

講演テーマ 救急医療と一般市民

～病院外心停止と新しい救急医療～

[講師] 近畿大学医学部救急医学教室 主任教授 平出 敦

15:45~16:30 近大マグロ® ミニマグロ丼 試食会 / 胸骨圧迫・AED操作の体験コーナー

16:30 終了



司会進行

テレビ松本ケーブルビジョン アナウンサー
「アルプスネットワークニュース」パーソナリティ
倉野 萌 (くらのもえ) 氏

講演終了後(15:45~16:30)

近大マグロ® 試食会 無料!

公開講座終了後に「近大マグロ®」
ミニマグロ丼の試食会を実施します。
近大マグロ®は学校法人近畿大学の登録商標です。



胸骨圧迫・AED操作の体験コーナー

公開講座終了後、胸骨圧迫処置とAED操作を
体験できます。(参加自由)

※修了証を発行する救命講習ではありません。

※応募方法・お申込・
お問い合わせ先は
裏面をご覧ください。

主催：近畿大学 共催：公益財団法人信毎文化事業財団

後援：松本市、松本市教育委員会、テレビ松本ケーブルビジョン、
信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター、松本広域消防局

近畿大学公開講座2011ⁱⁿ松本

熊井 英水「信毎賞」受賞記念講演

クロマグロの完全養殖とは

「完全養殖」とは、人工ふ化から育てた成魚が産卵し、卵を人工ふ化、さらに仔魚から稚魚、幼魚、成魚に育て、またその成魚が卵を産むサイクルのことです。

「獲る漁業からつくる漁業へ」をテーマに、1948年に開設された近畿大学水産研究所が32年にわたる研究の末、2002年に世界で初めてクロマグロの完全養殖に成功しました。天然資源を損なわずにクロマグロを流通させる仕組みを確立し、安定した食糧供給の一助となることが期待されます。

熊井教授が信毎賞を受賞（平成22年）

公益財団法人信毎文化事業財団（理事長・小坂社太郎信濃毎日新聞社長）は平成27年4月に「長野県民の芸術、スポーツ等の文化活動を支援するとともに、文化事業を行い、もって長野県の文化および社会の発展に寄与すること」を目的に設立されました。

同財団ではこの設立趣旨に沿った事業計画に基づき、文化や社会貢献等に著しい実績を上げた県民を表彰する「信毎賞」を創設しており、世界で初めてクロマグロの完全養殖に成功した近畿大学水産研究所の熊井教授が平成22年に受賞しました。

講演① 13:15~14:25

【講師】 学校法人近畿大学理事・近畿大学水産研究所 教授 熊井 英水（くまい ひでみ）



出身／昭和10年長野県塩尻市片丘生まれ。

学歴／長野県立松本深志高等学校卒業、広島大学水産学部水産学科卒業 農学博士（九州大学）。

職歴／近畿大学農学部教授、近畿大学水産研究所長等を歴任、専門は海水増殖学。現在、学校法人近畿大学理事、

文部科学省グローバルCOEプログラム「クロマグロ等の養殖科学の国際教育研究拠点」リーダー、日本水産学会名誉会員、愛媛大学客員教授。

主な編著書／「最新海産魚の養殖」、「水産増殖システム—海産魚」、「クロマグロ完全養殖」など。

主な受賞／日本農学賞、日本水産学会技術賞及び功績賞、日本水産増殖学会賞、信毎賞ほか。

講演テーマ

漁業資源存亡の機と養殖漁業

～クロマグロ完全養殖を中心として～

日本の漁業は、より高い漁獲を求め、競って優れた技法を駆使してきた結果、乱獲や自然破壊などの憂慮すべき大きな「つけ」を負われ、資源枯渇ひいては漁業不振に陥ってきました。

21世紀はこれに代って、持続的で安定した生産を保証する養殖漁業に志向しています。本講演では、その主要魚種の養殖技術を紹介すると共に、養殖は不可能と言われていた高速かつ大型回遊魚であるクロマグロの養殖技術について、さまざまな試練を乗り越え、1976年に初めて生簀（いけす）内の産卵に成功し、2002年には遂に世界初の「完全養殖」を達成した過程とその将来展望についてお話しいたします。

講演② 14:35~15:45

【講師】 近畿大学医学部救急医学教室 主任教授 平出 敦（ひらいで あつし）



出身／昭和28年長野県伊那市生まれ。

学歴／長野県立松本深志高等学校卒業、東京大学教養学部卒業、大阪大学医学部卒業、医学博士、救急専門医および指導医。

職歴／大阪大学救命救急センター、済生会神奈川病院、関西労災病院、英国オックスフォード大学、

大阪大学総合診療部を経て、平成16年より平成22年まで京都大学教授（医学教育推進センター）。

平成22年より近畿大学医学部教授（附属病院救急診療部）、平成23年より同大学医学部救急医学主任教授。

平成16年より長野県救急医療機能評価委員会委員。

講演テーマ

救急医療と一般市民 ～病院外心停止と新しい救急医療～

近年、安心、安全な社会への関心が高まるとともに、救急医療に対する一般市民の役割が注目されています。従来は、救急医療といえば、交通事故や労災事故にともなう外傷患者の治療を高度な設備を備えた救命救急センターで行うというイメージが強かったものですが、近年は、疾病による救急の重要性が高まっています。例えば、交通事故死は年々減少していますが、その一方で病院の外で倒れて心停止になる人の数は、年々、急速に増加しています。その背景として社会の高齢化が進んでいることが指摘されます。しかし、突然の心停止は現役のサッカー選手にも起こります。

演者は、長野県救急医療機能評価委員会の委員を6年間続けておりますが、こうした病院外心停止になった方々の命を救うには、救急病院に高度な診療施設を整備するよりも、居合わせた人々が適切な処置を施すことの方がはるかに重要なことを是非、長野県の皆さんにご理解いただければと日々考えています。

本講演では、一般の方がこのような医療にかかわることがいかに大切かについて統計データをもとにお話しいたします。また、救急蘇生のデモンストレーションを行い、ご希望の方は胸骨圧迫の処置をしていただいたり、AEDトレーナーの操作を体験していただけます。（参加自由）※修了証を発行する救命講習ではありません

■応募方法

講座開催日・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号・FAX番号またはメールアドレス（携帯可）を明記の上、下記のお申込・お問い合わせ先へ、FAX・E-mail及び郵送のいずれかでお申込みください。受付の確認をFAXまたはE-mailにて返信させていただきます。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお申込みください。

●ご応募頂いた皆さまの個人情報は、近畿大学公開講座のご連絡のみに使用し、他の目的に使用することはありません。

■お申込・お問い合わせ先

近畿大学 総務部総務課

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

TEL (06) 6721-2332 FAX (06) 6727-4435

URL <http://www.kindai.ac.jp> E-mail kouza@itp.kindai.ac.jp

会場周辺案内図



交通案内

JR篠ノ井線「松本」駅から徒歩約10分

まつもと市民・芸術館

〒390-0815

松本市深志3-10-1

TEL 0263-33-3800